



12年前日記

1999年12月31日
(金)

山田夫妻

『12年前日記 1999年12月31日(金)』

【1999年12月31日(金)】*2011年12月31日(土)記

9時30分、起床。朝方ファンが寒くて目が覚めた記憶があるが。「が」が4連続。しかし、もう嘘のように暑く、寝汗でビショリ。そんな大晦日ってみよう。

完全に朝飯は抜く習慣がついたので、顔も洗わずホテルを出て、三日連続サボるのもアレだし、一年の締めくくりだから仕方なく原始的手法、徒歩にて内務省を歩いて探す。

もったいないのでタクシーやツクツクは今後なるべく使わないようにする。けなげ、自称プロ戦場特派員の鑑！

ホテルから歩いて10分ちよいくらいのところに、地図通りに内務省を発見する。大晦日だからかでっかい柵が締まっているので見るだけで満足。年明けまで待ってるの面倒臭いから、取材許可証なしで難民キャンプに潜入取材しに行こうか知らん。

まあ、急がば回れ精神を発揮し、茨の道を選ぶ。どっちが楽か考えればすぐ分かるだろう。まあ、内務省を拝見でき、この取材で初めての手ごたえも感じたのでよしとしよう。

これでまたいつでも来れる。年明け、内務省が開いたら。

12時、セブンイレブンで昼飯を買って(30B)、ホテルに戻る。仕事が半ドンの日くらいは節約節約。

15時、腹が減っては戦ができません！ 8番ラーメンに3時のオヤツを食べに行く。

トムヤムクンラーメンとチャーハン(122B)。ふつうのラーメンの方がうまかったな。

やだ、またグルメ評論家しちゃった。帰ってきた3時のオヤツをセブンイレブンで買い込む(36B)。いいじゃんいいじゃん、大晦日くらい。

16時、ホテルに戻り、ベットに寝転がり、暑い熱風をかきまわすファンを眺めながら、タバコをひっきりなしに吸う。水シャワーを浴びて、カメラやビデオカメラの説明書などを眺めるうちに昼寝。

19時頃、いつも以上の喧騒でやかましい通りの音で目を覚ます。フロントに降りるとフロントを派手に飾って、新年気分で浮かれています。

俺はひとり厳かに大晦日を迎える。今年最後の晚餐は、いきつけのタイメシ屋で大晦日なので、えびと野菜を乗せたやつ(30B)。セブンイレブンで夜食(90B)。

戻ってくるとフロントで酒盛り中。明日から2000年が始める。2000年から21世紀なのか、2001年から21世紀なのか。まあ、どっちでもいいや。コツコツ読み進めてきた東海道中膝栗毛を読み終える。大晦日は江戸時代からすべてをチャラにしてくれる。今年チャラにして欲しいことは別に特にないな。ウンコ漏らしたのも今やいい思い出。

12時、ひとり年越しカウントダウンを7まで数えたときだった。トントンとドアを叩く音が。すわデリヘルの予感！ 扉を開けるとそこには全裸の、なんて初夢計画書を書きながら、年越しそばも除夜の鐘もないまま、「あけましておめでとう」と小声で三回繰り返し、新年を迎える。もう完全にすることもないので就寝(今年最後の12年後の俺です。1999年の師走同様、

2011年の師走も2012年に人類滅亡だと騒いでいる。そうでもないか。じゃあ、よいお年を、主に俺のみが！)。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ〜。

『12年前日記 1999年12月31日（金）』

<http://p.booklog.jp/book/41668>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41668>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41668>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.